

評価・提言

1 今年度の自己評価について

(1) 重点目標の達成状況

新卒学生就職に関わるシステム作り

就職フェアなどで積極的に学生にアピールでき理解が得られた。

新卒確保が厳しい中、多数の応募者があったことは園が評価されていることになる。

保育内容の公開

多くの見学者が見えることは園に興味を持ってもらっていることに繋がる。

学生の実習の希望も多く、少しずつではあるが保育内容の理解がされてきているようである。

防災計画の見直し

大きな実績はなかった。

障害児教育における体制作り

入園後に著しい発達が見られる園児が多く見られたことは評価されるべきである。

この蓄積を外部に公開することも必要かと思われる。

2 学校運営についての提言

自己評価より

新しいことに挑戦する姿勢が少ないように感じる。

現状を確実に行うことも重要だが、マンネリ化しない努力が必要かと思われる。

3 外部評価書より

園児募集に関して

無償化に伴い園の選択にあたっては今までと違う面で評価されることになることを考えると、現状維持では足りないと感じる。

保護者の立場になりどこに魅力を感じるかを探る努力をして欲しい。

教育経営

行事の整理については毎年言われているので、大きく変える必要がある。

限られた時間内ということも踏まえ、無理のないスケジュールが望まれる。そのためにも今一度行事の精査が必要な時にきているのかもしれない。

家庭の理解

家庭との信頼関係が不可欠であると考えるが、保護者の悩みまで聞ける体制も欲しい。